

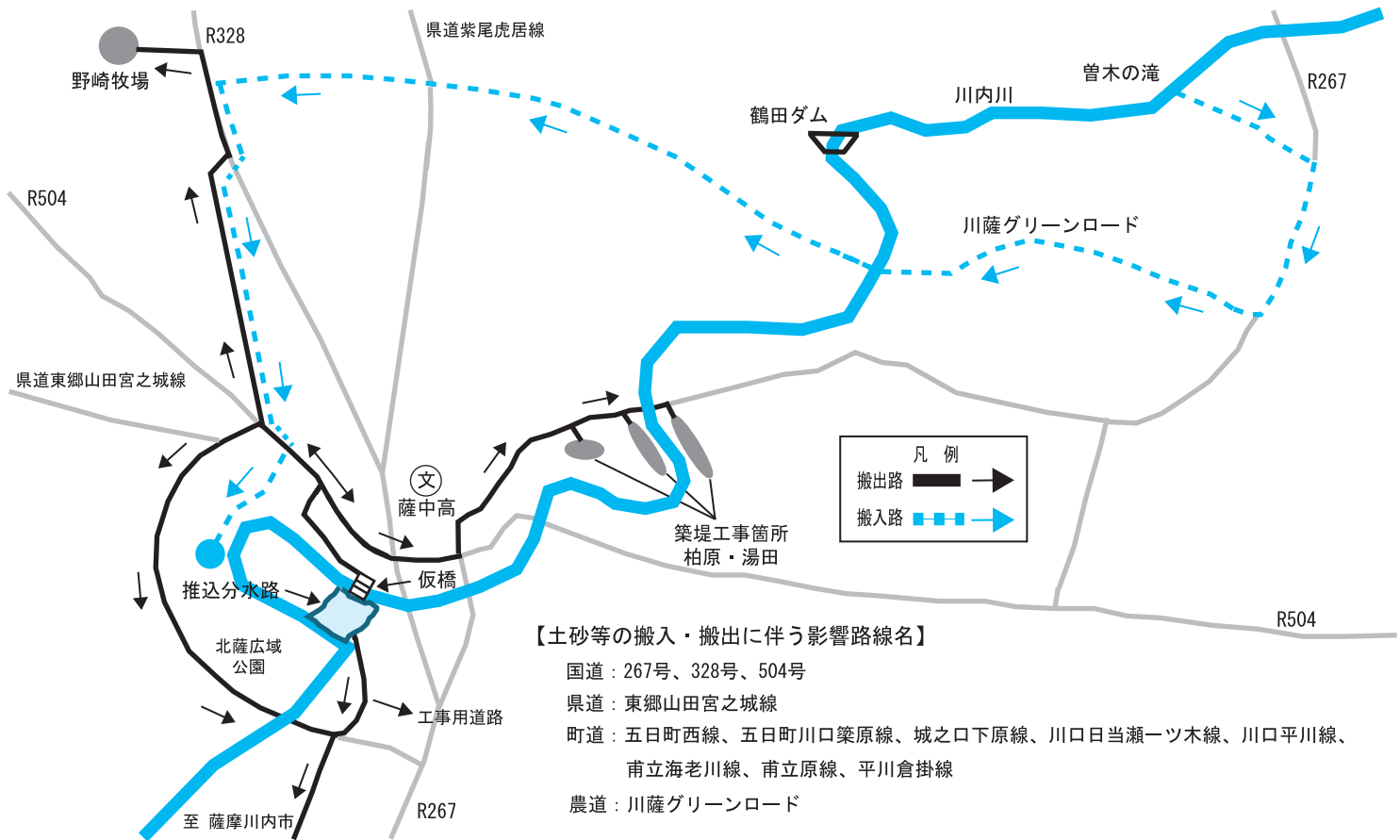
■激特事業の本格着工に伴う工事車両などの通行について

国土交通省が進めている推込分水路（延長約250m、底幅約65m、掘削約70万立米）掘削工事の本格着工に伴う土砂などの搬出のため、町内を通る工事車両等の往来が増えています。

土砂などは、推込分水路の上流側に架けられた仮橋及び町道五日町西線に通じる工事用道路から搬出され、町内各地の堤防（築堤）工事などの現場で利用されています。

9月からは、虎居地区の築堤工事の着工も予定されており、工事で使用される石材がダム上流の曾木の滝分水路等から搬入されます。

これら土砂などの搬出・搬入に伴う、交通安全、騒音、粉塵など、運搬に関する様々な事案などに対し、事業主体である国土交通省川内川河川事務所及び請負業者においては交通整理員を配置し、作業員、運転手などへ注意を喚起するなど十分な対応をとりながら事業を進めているところです。



工事工程表 平成21年7月～平成22年3月

施工会社	年月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
植村組 掘削運搬										
		伐根・伐採材								
		平川区（野崎牧場）			柏原区（大願寺・鎌田建設）		湯田区（田島組）		薩摩川内市（皿山）	
外園建設工業 掘削運搬										
		平川区（野崎牧場）			薩摩川内市築堤工事へ搬出予定					
鹿丸 掘削運搬										
		平川区（野崎牧場）			薩摩川内市築堤工事へ搬出予定					

工事期間中の通行について十分注意していただきますようお願いいたします。

現在の工事は、平成23年3月末までの予定です。

また、町では、国、県、警察及び行政機関合同での『安全・安心会議』を開催し、事業の安全な進捗に向けた対応などについて協議及び連携をとっていくこととしています。



推込分水路から土砂を搬出する工事車両（国道504号線）

■さつま町安全・安心会議を開催

7月3日、梅雨末期の集中豪雨や台風の襲来、激特事業の進捗に伴う交通・防災関連対策などを話し合う「第2回さつま町安全・安心会議」が開催され、国土交通省川内川河川事務所、さつま警察署、北薩地域振興局、町消防本部、役場など30人が出席し今後の対策について協議しました。

会議では、推込分水路建設に伴う掘削工事による土砂搬出車両増加に対する対策や、交通対策、防災対策、治安・防犯対策など町民の安全・安心に関する事項について話し合いが行われました。

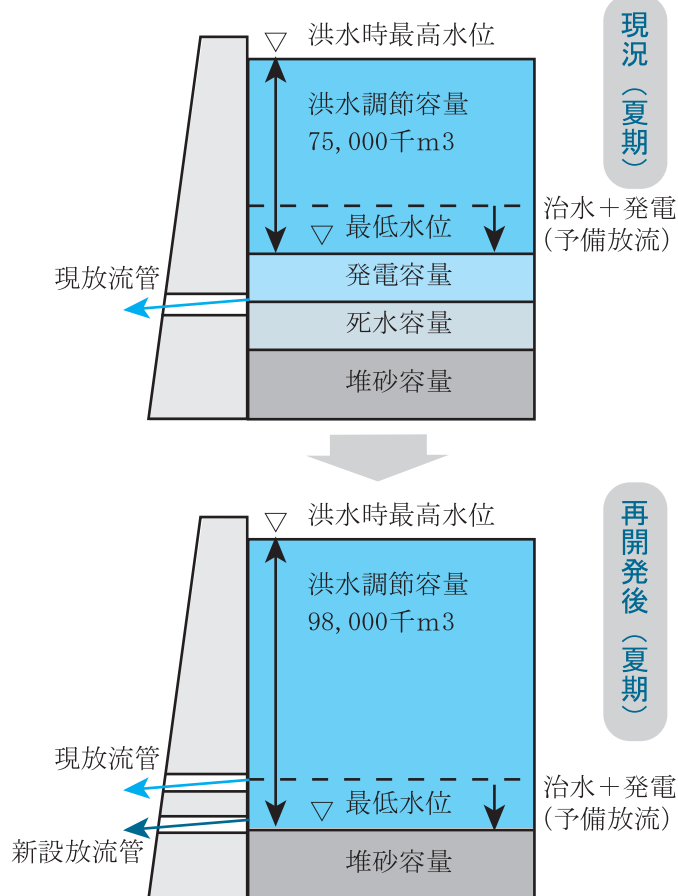


激特事業の進捗状況について説明する
是沢川内川河川事務所長

■鶴田ダム再開発事業の概要

県北部豪雨災害の後、川内川流域洪水被害軽減を目的とし、平成19年より鶴田ダム再開発事業に着手します。

事業費 約460億円
工期 平成19年～平成27年



◇発電容量と死水容量を洪水調節に振り替え、夏場の洪水調節容量を7500万立米から9800万立米（約1.3倍）に増量
◇低い水位でも放流できる、新たな放流管を増設